

環境基本計画の見直しの背景

愛知県環境基本計画(H14.9策定)

愛知県環境基本条例第9条に基づき策定。平成9年8月に策定した計画(環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るためのもの。)

計画期間:(長期的な取組)2025年頃 (短中期的な取組)2010年度

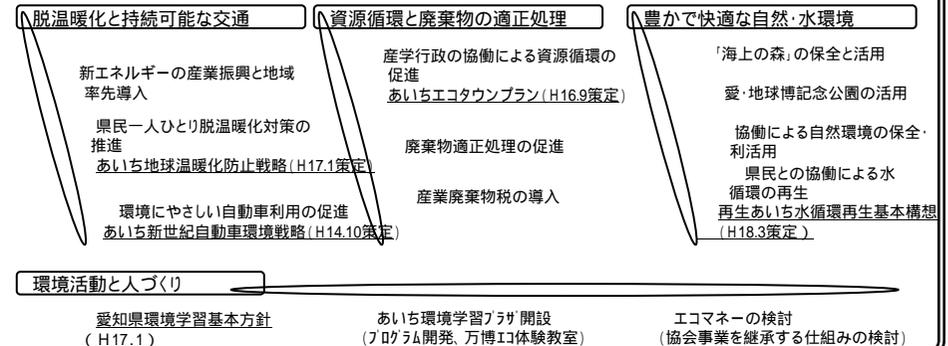
目標:「あいち環境社会」の形成
自然界における物質の適正な循環が確保・維持され、自然生態系が健全に保持された
恵み豊かな環境の愛知

長期的目標
循環、共生、安心、協働の社会の実現

短中期的な目標
大気環境保全対策 資源循環と廃棄物適正処理 地球温暖化・オゾン層保護
水・地盤環境対策 環境リスク対策 生物多様性の確保
環境コミュニケーションの推進

概ね5年ごとに計画全体の点検を行うとともに、新たな環境保全上の課題や社会経済動向の大きな変化が生じた場合には、必要に応じ計画の見直しを行う。

環境先進県づくり(H15年度~)と分野別プラン・戦略の策定・展開



自然の叡智をテーマとした愛知万博の開催

環境に関する様々な先進的・実験的取組が展開され、地域における環境意識の向上に大きな成果

- 環境技術・・・新エネルギー供給システム実証実験、風力発電、壁面緑化(ハイオウソウ)、バイオマス
- 環境学習・・・自然体感プログラム、エコツアー、こども環境サミット
- 市民参加・・・万博ボランティア、地球市民村、瀬戸市民ハビリオン、EXPOEコマネー、グリソマップ
- 交通・・・パークアンドライド、燃料電池バス

新しい政策の指針(H18.3策定)

- <長期的な視点>
人口減少社会と未曾有の高齢社会の到来、産業経済の大きな変化、持続可能な社会に向けた環境配慮の取組と意識の広がり、自立・分権型社会の進展
- <広域的な視点>
グローバル化の急速な進展、地域活力のアンバランスの拡がり、近隣県域等との広域連携の強まり

- 2015年の基本目標 「今を越え、さらに世界で輝く愛知づくり」
- 世界に貢献する産業・交流の中心あいち
 - 社会に役立つ人材いっぱいあいち
 - 健康・安心づくり県民総ぐるみあいち
 - 地域自立さきかけあいち

基本課題と主な政策

- 産業や文化を世界に発信する国際交流大都市圏づくり
- 産業技術の世界的中枢性の強化と成熟社会を担う産業展開
- 愛知の創造的発展を担う人づくり
- 人口減少・超高齢社会を支えあう自立と安心の社会システムづくり
- 安心・安全で元気な地域づくりとその実現に向けた社会資本の整備
- 豊かで快適な暮らしを創出する循環型社会づくり
- 県内各地域の特性を踏まえたバランスある発展
- 分権型地域社会の構築・道州制を視野に入れた広域連携の推進

- ゼロエミッションあいちの推進
- 環伊勢湾・水循環の再生
- あいち発・脱温暖化推進
- 人と自然の共生
- 県民みんなの環境活動促進

国・第3次環境基本計画(H18.4閣議決定)

<基本的な考え方>

- 1 環境、経済、社会の各側面の統合的向上
- 2 持続可能な国土・自然の形成
- 3 技術開発・研究の充実
- 4 その他

(参画・協働の推進、国際的取組の強化、長期的視野からの政策)

<重点的な取組>

【個別的な分野】

- 地球温暖化対策
- 物質循環の確保と循環型社会の構築
- 都市の良好な大気環境の確保
- 健全な水循環の確保
- 化学物質の環境リスクの低減
- 生物多様性の保全

【横断的な分野】

- 市場で環境が積極的に評価される仕組みづくり
- 環境保全の人づくり・地域づくり
- 科学技術・環境情報等の基盤整備
- 国際的取組の推進

新・愛知県環境基本計画(H19.9改定予定)

<位置付け>

「新しい政策の指針」で示した地域づくりの方向性を踏まえ、県の目指すべき環境の全体像や環境施策の方向性を提示
愛知県の環境行政の「指針」・「羅針盤」

<内容>

「環境」の視点からの地域づくりという観点から作成
(全庁的な環境関連施策を盛り込む。)

愛知万博の成果、環境先進県づくりの取組、国の環境基本計画の内容も盛り込む。